

【様式】

令和7年度 学校マネジメントシート

学校名（三重県立杉の子特別支援学校石薬師分校）

1 目指す姿

(1) 目指す学校の姿		一人ひとりの可能性を伸ばし、生きる力を育む学校
(2)	育みたい資質・能力（育みたい児童生徒の姿）	○自立と社会参画をめざし、主体的に取り組む子ども ○自己肯定感と他者を思いやる気持ちを持ち、自他の命を大切にし、人権感覚あふれる子ども
	ありたい教職員の姿	○多様化、複雑化する社会に対応し、学び続ける姿勢を持った教職員 ○豊かな人権感覚を持ち、子どもの成長を保護者と喜び合える教職員 ○知的障がい教育および肢体不自由教育における高い専門性を有する教職員 ○計画的で柔軟かつ組織的な対応ができ、教育・福祉・医療等関係機関と連携した教育活動に取り組める教職員 ○教育公務員としての責務を自覚し、自らを律することができる教職員

2 現状認識（本校分校共通）

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		＜児童生徒＞ 様々な体験的な学習や自分自身が活躍できる経験を通して、将来、自分らしく豊かに生活するために必要な力を、楽しく身に付けたいと望んでいる。 ＜保護者＞ 安全安心な学習環境の維持と児童生徒一人ひとりの特性に応じた教育の充実、卒業後の進路実現を期待する声が多い。 ＜地域・関係機関＞ 鈴鹿亀山地域の特別支援学校として、地域の特別支援教育の推進に向けたセンター的機能を充実させてほしい。
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待	連携する相手からの要望・期待	＜保護者＞ いじめのない安全安心な学校運営と自立活動の充実、知的障がい教育の小中高の連続性を維持してほしい。 ＜地域の学校＞ 特別支援教育に係る情報提供や交流教育を進めてほしい。 ＜地域の関係機関（企業・福祉施設等）＞ 連携・協力するための情報提供をしてほしい。 ＜地域社会＞ 共生社会の実現に向けて、ともに活動できる機会を提供してほしい。
	連携する相手への要望・期待	＜保護者＞ 規則正しい子どもの生活と子どもの心に寄り添う子育てに協力してほしい。 ＜地域の学校＞ 進学に係る情報提供や交流及び共同学習の受入と充実に協力してほしい。 ＜地域の関係機関（企業・福祉施設等）＞ 学校の教育活動を理解し、卒業後を見据えた連携を継続してほしい。 ＜地域社会＞ 学校の教育活動を理解し、児童生徒が活躍できる場を提供してほしい。
(3) 前年度の学校関係者評価など		（本校） ・セラピストのような専門職を活用した取組は今後とも進めてほしい。 ・地域協働活動を充実させるためには、学校の取組や地域にしてほしいことを発信するとよい。 （分校） ・インクルーシブ教育の実現をテーマに、学校管理の課題、学校教育の課題に向けた改善策を保護者、教職員に周知するとともに、改善に向けた取組を進める。

		・石薬師高校生徒会とも連携し、校舎内のルールやマナーを明確にし、両校が一体となって課題解決に向け取組を進める。
(4) 現状と課題	教育活動	○授業 ・生徒の自立と社会参画に向けた、主体的な学びを実現する授業改善に取り組む。 ○キャリア教育 ・双方の子どもが主体的に取り組める交流及び共同学習に取り組む。 ・高等部の作業学習において、「つけたい力」を明確にし、教職員の統一した指導観を整理し、取組を進める。 ○命を大切に教育 ・人権教育における技能的側面の習得を強化し、児童生徒の実践行動できる力を育成する。
	学校運営等	○安全・安心な学校づくり ・安全な給食の提供に向けて、教職員の目視も含めた未然防止策に取り組む。 ・インクルーシブ教育を推進し、石薬師高等学校と連携した取組を進める。 ○信頼される学校づくり ・保護者や地域と連携した、組織的対応や支援体制の強化に取り組む。 ・発達障がい支援にかかる教職員研修に取り組むとともに、指導体制の構築を図る。 ・教職員のコンプライアンス意識の向上に取り組み、不適切な対応を根絶する。 ○地域協働 ぬくたいフェスタへの主体的参加を検討する。 ○施設・教職員 老朽化する施設対応、トイレ不足、教室数の不足、教職員の確保に取り組む。

3 中長期的な重点目標（本校・分校共通）

教育活動	1 確かな学力の育成 ・学習指導要領に則した教育課程に基づく授業実践に取り組み、教科学習を充実させる。 2 自立と社会参画に向けた教育の推進 ・児童生徒の発達段階に応じ、地域と関わる学習や作業学習、実習や職業体験学習を通して自己肯定感を高め、キャリア発達を促進させる。 3 命を大切に教育の充実 ・人権教育カリキュラムに基づいた人権教育を推進し、自己肯定感を育む教育と児童生徒のつながりを確かなものにする仲間づくりに取り組むとともに、技能的側面を強化した人権学習や葛藤のある人権学習を通して、実践行動力を育成する。 ・いじめを未然に防止するための児童生徒の主体的な活動の充実に取り組む。 ・発達段階に応じた性に関する指導、健康教育・食育の充実に取り組む
学校運営等	4 いじめや暴力のない学校づくり ・児童生徒の人間関係をていねいに見つめ、いじめの認知に努めるとともに、いじめに対して迅速かつ組織的に対応する。 ・インクルーシブ教育の実現をめざし、石薬師高等学校と連携して取り組む。 5 安全安心な学校づくり ・バス運行会社と連携し、安全なスクールバス運行に取り組むとともに、自主通学生の通学路点検を実施し、児童生徒の登下校の安全の確保に取り組む。 ・医療的ケアを充実させ、医療的ケア児が安全安心な学校生活を送れるよう取り組む。 ・給食数増加と食形態の複雑化に対応した安全安心な給食の提供に取り組む。 ・災害備蓄品の整備や災害本部設置訓練、保護者引渡し訓練に取り組む、災害対策を充実させるとともに、危機管理マニュアルの整備・更新を行う。 6 センター的機能の充実 ・本校・分校コーディネーターによるチーム支援や夏季公開講座等に取り組む、地域の特別支援教育を推進する。

	・教育相談、就学支援委員会等の機会における情報収集と関係機関と連携した支援体制の構築に取り組む。
7 地域協働の取組	・自治会の行事や地域の人権フェスティバル等に参加し、地域啓発に取り組む。 ・進路渉外担当を中心とした地域との連携を促進し、学校課題の洗い出しに取り組む。 ・スクールボランティアによる協働体制作りに取り組む。 ・保護者、地域への情報発信を充実させ、開かれた学校づくりに取り組む。
8 信頼される学校づくり	・相談体制と家庭支援を強化し、児童生徒保護者の思いに寄り添った指導に取り組む。 ・教職員の研修の機会を保障し、教職員の専門性の向上をめざす。 ・「信頼される学校であるための行動計画」に基づき、年間を通じたコンプライアンス研修、風通しの良い職場づくりに取り組み、不祥事を根絶する。
9 働きやすい職場づくり	・管理職がリーダーシップを発揮してワークシェアを推進し、業務の偏りの解消に努める。
10 人材の確保と施設の老朽化対策、教室数確保	・人材の確保に取り組む教職員の負担軽減を図る。 ・施設の老朽化、教室数確保に取り組む

4 本年度の行動計画と評価（分校）

（1）教育活動

教育活動に関する項目は、児童生徒を対象としたものとするのが望ましい。

（例）「教育課程・学習指導」「キャリア教育（進路指導）」「生徒指導」「保健管理」など

また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【活動指標について】取組・活動の具体的な活動量や活動実績を指標にします。

【成果指標について】取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	評価	備考
1 確かな学力の育成	（1）観点別学習状況の評価に基づく授業実践・改善に取り組む。 【活動指標】 ・中学部において略案作成 学級において1回、作業班において1回実施 ・高等部において略案作成 作業班において1回実施 ・高等部において実践報告作成 学級において1回実施 ・高等部において授業の年間指導計画の作成の研修を行う。 ・高等部において各教科別に授業担当者会を行う。	研修部 教務部	
	（2）令和8年度教育課程、年間計画の見直しを図る。 【活動指標】 ・教育課程検討委員会による見直し	教務部	
2 自立と社会参画に向けた教育の推進	（1）キャリア教育における小中高の系統的な取組を推進し、卒業後の進路実現を目指した指導の充実を図る。 【活動指標】 ・中学部における校内実習の実施 年1回 ・高等部における校内実習・現場実習の実施 年3回 【成果指標】 ・中学部生徒アンケートで「がんばれた」90%以上 ・高等部生徒アンケートで「卒業後のイメージを持つことができた」90%以上	進路部	

	・ 高等部3年生の希望する進路の実現 100%		
	(2) 地域生活を体験し、児童生徒の自己実現を図る学習を充実させる。 【活動指標】 ・ 希望する生徒の居住地校交流を実施する。 ・ 中学部における地域中学校との交流及び共同学習に取り組む。 ・ 高等部における職業体験実習に取り組む。 【成果指標】 ・ 教職員アンケートにおいて「地域中学校との共同及び交流学习において、生徒の目標を達成できた」80%以上 ・ 中学部生徒アンケートで「自分の目標に向けて取り組めた」80%以上 ・ 高等部生徒アンケートで「自分の目標に向けて取り組めた」80%以上	研修部・高等部	
	(3) 進路実現に向けて、保護者と連携した取組を推進する。 【活動指標】 ・ 保護者対象進路説明会（知的障がい部門）を実施する。 ・ 進路だよりによる情報発信 年4回以上 ・ キャリア教育プログラムの保護者理解を促進する 【成果指標】 ・ 保護者アンケートで「学校は児童生徒の進路実現に向けて保護者と連携して取り組んでいる」80%以上	進路部	
3 命を大切に する教育の 充実	(1) 児童生徒の発達段階に応じた主体的実践力を育む人権教育に取り組む。 【活動指標】 ・ 人権教育カリキュラムに基づく授業実践 年3回 ・ 人権教育だよりを年3回発行 【成果指標】 ・ 中学部生徒アンケートで、「友だちとともに学習することが楽しかった」90%以上 ・ 高等部生徒アンケートで、「誰もが安心して生活を送るために何かできることをしたい」80%以上	研修部	
	(2) いじめや暴力を許さない態度を養う指導を充実させる。 【活動指標】 ・ いじめを許さない取組 年2回 ・ いじめ防止学習の実施 年2回 【成果指標】 ・ 生徒アンケートで、「心配なことがあれば、周りの人に相談する」85%以上	指導部	
	(3) 自殺を未然に防止する対策を充実させる。 【活動指標】 ・ 自殺防止に対する取組の実施 【成果指標】 ・ 児童生徒のこころとからだに関するチェックアンケートの実施 年3回	指導部	

(4) 発達段階に応じた性に関する指導、健康教育・食育を充実させる。 【活動指標】 ・ 自分も他者も大切に性に関する指導実施 年5回 ・ 自ら健康を維持増進する態度を養う保健栄養指導実施 年3回 2回 ・ 歯と口の健康づくり講演会実施 年1回 【成果指標】 ・ 生徒アンケートで、「自分や他者を傷つけず思いやることが大切である」80%以上 ・ 生徒アンケートで、「健康について楽しく学べた」80%以上 ・ 生徒アンケートで、「歯と口の健康について知ることができた」80%以上	生活部	
改善課題		
(年度末に記載)		

(2) 学校運営等

(例)「組織運営」「研修(資質向上の取組)」「情報提供」「保護者・地域住民等との連携」など
また、評価項目・指標等を検討する際の視点は、学校の実態に応じて設定する。

【成果指標について】 取組・活動による具体的な効果や成果等を指標にします。

【備考欄について】 「※」：定期的に進捗を管理する取組 「◎」：最重点取組

項目	取組内容・指標	評価	備考
4 いじめや暴力のない学校づくり	(1) いじめに対する迅速かつ組織的な対応を行い、いじめの早期解消に取り組む。 【活動指標】 ・ いじめアンケートを年３回実施する。 ・ いじめが疑われる場合は、迅速かつ組織的に対応 【成果指標】 ・ いじめ重大事態０件 (2) インクルーシブ教育の実現をめざし、石薬師高等学校と連携した取組を進める。 【活動指標】 ・ 合同生徒指導委員会の定例開催 ・ 石薬師高等学校とのオフサイトミーティングの実施 年１回 ・ 石薬師高等学校との交流及び共同学習の実施（生徒会交流、文化祭の相互交流、環境美化運動） ・ 全校集会等への講師派遣 ・ 校舎のユニバーサルデザイン化に取り組む。	指導部 指導部 教頭 研修部 支援部	◎
5 安全安心な学校づくり	(1) 登下校の安全安心の確保に取り組む。 【活動指標】 ・ スクールバス委員会による教職員、添乗員、運転手の連携強化 ・ 令和８年度のスクールバス運行計画の整備	指導部	

	・自主通学生全員の通学路安全マップの作成 ・自主通学生の交通安全指導実施 学期に1回 ・スクールバス添乗員研修の実施 【成果指標】 ・下車後のスクールバスの生徒放置0件 ・登下校の交通事故0回		
	(2) 安全安心な給食の提供に取り組む。 【活動指標】 ・給食献立委員会による給食調理業者との連携 年12回 【成果指標】 ・給食への異物混入、食物アレルギー症状発症等の事故 0件 ・食形態の多様化、給食数の増加への対応策完了	生活部	
	(3) 防災教育・防災対策を推進する。 【活動指標】 ・防災ノートを活用した防災教育に取り組む ・実践的避難訓練の実施 (地震発生から、避難、救助、消火等、保護者引き渡し) ・スクールバス児童生徒引渡し訓練の実施 年2回	総務部	
	(4) 危機管理体制を充実させる。 【活動指標】 ・不審者対応訓練の実施 年1回 ・救命救急法講習会の実施 年1回 ・アレルギー対応訓練の実施 年1回 ・てんかん発作時の対応訓練を実施 年1回 ・医療的ケア児の緊急対応訓練の実施 一人につき年1回以上 ・児童生徒失踪対応訓練の実施 年1回 【成果指標】 ・訓練結果を令和7年度危機管理マニュアルに反映	各部 総務部 生活部 生活部 生活部 生活部 指導部	
6 センターの機能の充実	(1) 本校・分校特別支援教育コーディネーターによるチーム支援を強化する。 【活動指標】 ・地域の校・園の教育相談の充実 ・かがやき特別支援学校と連携した地域支援の充実	支援部	
	(2) 地域の特別支援教育の推進を図る。 【活動指標】 ・夏季公開講座の開催 年1回 ・教職員体験研修の開催 年2回 ・分校見学会の開催 年3回 【成果指標】 ・参加者アンケートにおいて、「特別支援教育の理解が進んだ」80%以上	支援部・研修部	
7 地域協働の取組	(1) 地域活動に参加し、特別支援教育の理解啓発を促進する。 【活動指標】 ・地域のイベントへの参加 年4回 (ホースパーク桜まつり、三重県民祭、ぬくたいフェスタ、石薬師地区人権フォーラム)	研修部	

	(2) 地域協働活動を推進し、学校活動を充実させる。 【活動指標】 ・パートナーシップ会議の開催 年2回	進路部	
	(3) 保護者・地域への情報発信により、開かれた学校づくりを推進する。 【活動指標】 ・学校だよりの発行 年3回 ・ホームページの更新 月1回以上 ・授業参観の実施 年3回 【成果指標】 ・授業参観後の保護者アンケートにおいて、「学校での学習の様子がよくわかった」80%以上	管理職・総務部・教務部	
8 信頼される学校づくり	(1) 生徒の困り感への迅速かつ組織的な対応に取り組む。 【活動指標】 ・校内支援会議を開催し、組織的に対応する。 ・外部関係者会議を開催し、支援体制強化に取り組む。 【成果指標】 ・保護者アンケートで、「学校は問題に対して迅速に対応している」80%以上 「学校は相談しやすい雰囲気がある」80%以上	支援部	
	(2) 教職員の専門性の向上に取り組む。 【活動指標】 ・セラピストによる校内支援をととして教員の専門性向上に取り組む。 ・発達障がい支援研修を実施する。 【成果指標】 ・校内研修後の教職員アンケートで、「自らの資質が向上した」80%以上 ・個人研修（校外）年2講座以上の達成率100%	支援部	
	(3) 教職員のコンプライアンス意識の向上に取り組む。 【活動指標】 ・コンプライアンス研修の実施 年10回 ・コンプライアンスミーティングの実施 年2回 【成果指標】 ・石薬師分校における不祥事0回	管理職	
9 働きやすい職場づくり	(1) 年間を通じて職場環境や業務についての意見を反映し、風通しの良い職場づくり、働きやすい環境づくりに取り組む。 【活動指標】 ・オフサイトミーティングの開催 年1回 ・教職員満足度調査の実施 年1回 【成果指標】 ・教職員アンケートにおいて、「校務へのやりがい、楽しんでいる」80%以上 「働きやすい環境づくりが進んでいる」80%以上	総務部 管理職	
	(2) 学校安全衛生委員会による安全安心な職場環境づくりに取り組む。 【活動指標】 ・学校安全衛生委員会の開催 月1回（年12回）	管理職	

	・衛生管理者による職場巡視 週1回（年48回） ・産業医による職場巡視 2か月に1回（年6回）		
	（3）会議の効率化と定時対校日の確実な実施に向けて取り組む。 【活動指標】 ・定時対校日の設定 月1日 ・設定した日の定時退校できた割合 90%以上 ・ノー会議デーの実施 月1回 ・放課後に開催して60分以内に終了した会議の割合 90%以上 【成果指標】 ・時間外在校等時間が年360時間を超えるのべ職員数0人 ・時間外在校等時間が月45時間を超えるのべ職員数0人 ・時間外在校等時間 月平均30時間以下 ・年次休暇取得日数 10日以上	管理職	
10 人材確保と施設の老朽化対策、教室数確保	（1）人材確保と施設の老朽化対策、教室数確保に取り組む。 【活動指標】 ・非常勤講師の授業改善に取り組む ・給食施設の修繕に取り組む ・教室数確保に向けた校舎改修に取り組む	管理職・事務部	
改善課題			

5 学校関係者評価

明らかにした改善課題と次への取組方向	
--------------------	--

6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	
学校運営についての改善策	